

【第1部 講演】

1. NPO 法人 AMP 理事長 齋藤一成氏への質問と回答

【Q】講演の中で紹介されたクーポンリーダーの仕組みや100円商店街の進化形についてもっと知るにはどうしたらいいか

【A】直接、NPO 法人 AMP（アンプ）までお問い合わせください。

山形県新庄市本町2-15 ☎0233-29-2279

講演等で派遣をご希望の場合は、全国商店街支援センターのアドバイザー派遣や、専門家派遣制度『ミラサポ』等を活用して、支援を受けることができます。申請の仕方については、お近くの商工会議所・商工会等支援機関にお問い合わせください。（大阪市内の商店街の場合は、大阪商工会議所までお問い合わせください。※当該HPのお問い合わせフォームをご利用ください。）

2. 西小山にぎわい研究会 代表幹事 川崎義雄氏への質問と回答

【Q1】ミステリーツアーの具体的な方法（準備期間、どれくらいのエリアで実施しているのか、実施したい場合、最初のアクションはどんなことをしたらいいか、参加店はどのように集めたか、参加店での協力の得方、協力を得るために工夫されたこと）

【A1】準備期間について：約半年前から、実行委員会を開催します。例えば、5月末開催の時は、前年の11月より準備を開始する流れです。

エリアについて：地域の特性上、エリアについては様々な状況が発生すると思いますが、西小山の場合は、駅を中心として大体半径300m前後の商圈を対象とします。これはあまりエリアを広げすぎると、参加者さんの負担が大きくなってしまう事と、交通安全確保のための人員数が増えすぎてしまうからです。

最初のアクションについて：フォーラムでもご説明しましたが、ミステリーツアーは非常にフレキシブルに対応できるツールですが、まず初めはある程度パッケージ化された仕組みでチャレンジされるのがベターだと思います。西小山も初めはそうでした。

ゆえに、ご希望があれば専門担当者（日本ビジネス作家協会所属の作家：廣川州伸氏）へコンタクトしてみてください。

参加店の集め方および協力を得るための工夫について：やはりイベントとしての魅力を持たせるには、商店街のシンボリックな店舗さんに参加して頂ける事が重要です。参加して頂くには、この企画はポイント店舗の店頭には必ず参加者さんが訪れてくれますので、非常に効果的なプロモーションを実施する事が可能である点をきちんと説明して、興味を持って頂くことが重要だと考えます。西小山の場合は、当初イベント効果に懐疑的だった事もあり、ポイント店舗として協力下さる店舗さんには、一日5000円程度の補助金を出して、お客様をおもてなす企画の資金としてもらいました。今現在は、イベント効果が浸透しましたので、実施しておりません。

【Q2】商店街から実施したいという照会があった場合、（商工会議所等の支援機関は）どう対応したらいいでしょうか。

【A2】商店街さんより実施希望があった場合について前述の廣川氏と直接やり取りをして頂いても構いませんし、一度私の方へご連絡いただいても構いません。先方様のご希望をまず伺う形からスタートする流れで進めさせていただきます。

【Q3】日本ビジネス作家協会の連絡先等

【A3】日本ビジネス作家協会の連絡先等について

作家の廣川氏の連絡先：hirokawa9202@gmail.com

・川崎氏の連絡先：西小山にぎわい研究会 川崎義雄 kawasaki@chevella.net